

津島市タウンミーティング（神島田コミュニティ推進協議会）会議録

日程 令和5年6月27日（火）

午後6時～7時33分

会場 神島田小学校区コミュニティセンター

1 事前質問（要旨）

- ① 現在まちづくり、都市構想の中、南玄関の神島田地区において、積極的な企業誘致を！
選挙のマニフェストを見るたび度に期待するが、全く進展しない！！

市長

市長に就任させていただいてから津島市は21万平米、3箇所、民家の少ない場所として鹿伏兎・白浜・宇治町に企業誘致を行い、うち4分の3が埋まった。地域の価値を上げるためにはまず、企業誘致のできるのところからやらせてもらい、そこで働く人が地域でお金を落とす流れになり、実際そうなりつつある。定住や移住につながっており、雇用も増加している。そういうことから企業誘致をしっかりとしていこうとしている。あとは担当の者から説明させてもらう。

市職員

南の玄関口と位置付ける永和駅含む神島田地区の土地利用の件で、上位となる愛知県から言われていたことは唐臼地域の市街化調整区域の区画整理を前提とした市街化区域の課題を解決していないことが県から懸念されていた。そうしたものに令和2年度に地区計画を設定し、現在はドラッグストアが出店できるようにもなる土地利用の見直しを図った。

事業については、将来に向けて選択と集中で対応することになる。市の南の玄関口としては、西流通センターを含めた蟹江ICから永和駅間の地域の土地利用を進めさせていただいている。そうした地域での工場誘致や現金化などを行っていき、いよいよ永和駅に移っていく。これに関して企業誘致についてお話しさせていただく。

市職員

南の玄関口となる永和駅北部については、以前利活用について市で調査を行い、地元の神島田の方には説明させていただいたがそのようなことについて紹介させていただく。

永和駅から東名阪道までの一帯は法令による強い開発・農地の規制があり、こういった状況の中で、こういった土地の利用ができるのか平成27年度に津島市で調査をしました。調査内容は、土地地権者の土地売却意向調査、ならびに、住宅系の業者、商業系の業者、工場や物流倉庫の業者に、この地域への進出に興味があるか、進出するにはどういった条件や要望があるかなど、数多くの企業に聴き取りをしました。結果として、土地の売却について住民・地権者は、土地の売却については4割が肯定的、金額次第で検討してもいいと回答があったのが5割、残りは未解答や売却はしないなどが1割であった。

民間事業者への聴き取り結果は、住宅地や商業地としては、興味を示されませんでした。工場や物流倉庫の業者からは、「蟹江インターも近く、場所は悪くない。土地が低いた

め進出には盛土が必須」とのことでした。また、民間事業者側の要望としては、法令の規制は厳しいが、それがクリアできたとき、すぐに土地売買契約が出来るよう地元で合意形成が図られているかを重要視する。との意見を頂きました。市に対しては、企業誘致活動における内容の秘密厳守が求められました。只今、申し上げた内容については、平成 27 年度の調査結果を神島田公民館で開催した地元説明会で報告した内容となります。

こういう経緯を踏まえ、企業誘致はまずはやりやすいところからやらせていただくということで、津島市では、企業誘致を進める区域として、平成 27 年度に宇治区域と白浜区域を指定し、平成 28 年度には鹿伏兎区域を指定しました。鹿伏兎区域は高速道路より北側で約 7 h a あり、三菱重工メイキエンジンの本社工場も進出されました。

津島市は企業誘致活動に力を入れており、その営業先は、津島市内の企業、市外の企業、銀行の企業担当、不動産業者、ゼネコン等々に営業をかけ続けております。その結果、これまでに約 250 社から相談を受け、このうち 16 社を宇治・白浜・鹿伏兎の 3 区域に誘致しました。

ご質問の永和駅北側への企業進出は、今のところ企業からの相談がありませんが、津島市は引き続き営業をかけ続けております。

「積極的な企業誘致を！」との事前質問の回答といたしましては、企業から相談があった際は、先ほどの調査回答のように、すみやかに土地売買契約が出来るかが重要視されるので、事前に地元で合意形成を図っておくとよいと思います。

② 神島田消防分団の駐車場（なし）の必要性。道路がカーブしている箇所の上駐車で危険性大！別件、火の見やぐらの老朽化のための撤去（民家が間際にある）

市職員

消防分団車庫の駐車場について、かつては徒歩や自転車で駆けつける人が多く問題なかったが自動車に乗る方が増えて集まっている。今までは路上駐車も見られたが今では神島田小学校の駐車場を借りて使っている。分団車庫の駐車場はほかの分団も同じ状況であり、小学校の駐車場から車庫まで 120m 程度の距離ということもあって、今後も小学校の駐車場を使用させていただくことでご了承いただきたい。

火の見やぐらについては、かつては火事や災害を知らせるために使われていた。しかし今では緊急通報という本来の目的で使われていない。代わりに消防団のホースを干すのに使われており、これにはやぐらに人が登らなければならない地域の高齢化もあって危険でもある。そういう背景もあって登らずに整備した滑車で吊り上げるようになっている。将来的には撤去も考えなければならないが、現状車庫については車庫のある場所が借地で借りているという状況もあり、もし今後移転などを契機にホースを干す専用の設備を整備すること等の課題もあるため、しばらくは現状維持とさせていただく。

2 意見交換（要旨）

テーマ「2大プロジェクト！『まちづくり再生と子育て支援』」

津島市で進めているまちづくり再生・子育て支援施策の紹介・進捗状況について市長より説明し、参加者と意見交換を行った。

（1）東公園の整備について

意見

先日市老人クラブ連合会が東公園でグランドゴルフ大会を開催した。その際に雨が降ったこともあってグランドの状態も悪く水たまりができてしまいそんな状況で泣く泣くやるしかなかった。会場であった市営球場の水はけを改善するために整備してもらえないだろうか。それともう一つ、唐臼地区に高台を作って、避難所とかねて普段はグランドゴルフ場にできるだとかして整備してもらえないか。いろいろな施策の説明をされたが、高齢者には関係ないものだ。我々もこの南の玄関口である地域を守っていこうと思っている。そのためには体力をつける必要があり、畑仕事だけでは体力向上には限界があり、高齢者にとっても運動ができる場所の整備が欲しい。そのために東公園の土の改善くらいはしてほしい。

市長

ご意見ありがとうございます。東公園など市施設の整備は経費がかかる。今、東公園の利用について利用者のアンケートを実施している。東公園をこれからどうしていくか、これからの魅力ある持続可能な東公園の在り方をできるだけ早めに決めてお示ししていきたい。

そうしたアンケートや意見を踏まえ、いろいろなご要望をまとめてうまくいけば東公園は第二の天王川公園となるかもしれない。つまり民間の投資を受けて価値のある公園にして行きたい。（東公園について）民間の反応は良好であり、いい形の提案もいただけるのではないかと感じており、その中で第二の天王川公園としておっしゃられたような整備もして行けるかもしれない。様々な可能性を模索していき市民の皆さんにも喜んでいただける形にしていきたい。

意見

ぜひ私の生きているうちに。

市長

大丈夫です。お約束します。天王川公園の事業も平成29年から7年がかりで実行した。平成29年に天王川公園や東公園のような都市公園に収益物件を建てられるように規制が緩和された。レストランやスポーツジムなど民間の施設が建てられるようになった。そうした流れの中で天王川公園の中央公民館の利用者を別施設に誘導し建物を解体し、整備をして、指定管理を導入し、大和リースが入って2億2400万円の投資が入り様々な事業を展開している。これは市の税金だけでなく、市は全体のうち3600万円であり、ほかには民間の資金や国の補助金を活用しもちだしを少なくやった。これを東公園でも実施

するため価値を探っている。いい回答ができると思う。もう少しお待ちいただきたい。

(2) 市職員へのパワハラ報道について

意見

今回出席いただいているのは市長や部課長ばかりだと思いますので質問させていただくが、先日新聞に市幹部職員による職員へのパワハラ報道が載っていた。私が会社員のころ気を付けていたのは、叱るのは別部屋で小さな声で、ほめるのは皆の前で大きな声でというのをやっていたが、市はそうしたマネジメントをしっかりとやっているのか。市役所で働く若手の職員ではうつになっている人もいる。彼らの人生がパワハラで台無しになってはいけない。皆さんが若手職員のマネジメントをどのようにやっているのか、どなたか伺いたい。

市長

私もこういうことが新聞に出たことにびっくりしている。これについて職員組合のほうからパワハラに関する89ものアンケート結果がありパワハラがあると私の方に示された。これがよく精査されないまま新聞に載ってしまった。しかしこれは、私どもと組合の間で6月9日に組合と会談をし、録音の記録もとって、パワハラに関する調査を約束してから、今後どのように調査を進めるかについて合意を行った。パワハラというのは定義があり、調査結果のそれぞれが条件に該当するのか、もう一度調査をして市と組合との間で納得する調査項目を含めてやっていくと合意をし、これからどこまでだれが何をどうあったかということこれから調査するというので合意があったにも関わらず、その前に記事になった。私が調査をすると約束して、その推移を見守っていただけると確信しているがその前に、結論をつけて誰その責任、誰それが悪い、誰それを辞めさせろなどの意見が出てしまっておりそれはフライングではないかと思う。私どもはそのように主張しているがこれがどうなるかはわからない。今の状況については私どもも組合もちゃんと録音を取ってある。真実は一つである。

今後調査の結果でいろんなことが出てきたら、その時重要なのは今まで市で行われていたパワハラに関するものを根絶していききたい。それは今は主語が幹部職員と職員となっているが、ひょっとしたら議員と職員、あるいは職員同士でもあったかもしれない。本件については組合とも合意したものが違う内容になっているのではないだろうか。ここでこれ以上お話しても本来はこういう話は議場でするようなことではなく、議員と職員ということなので、公的な第三者にゆだねて結論や方向性を出してからこういうものでしょとするのが常識だと思うが、あのような議題・記事になってしまった。あれは、今まで津島市はこれまでのいろんな話や経緯があったと確信しているのだがそれが抜け落ちている。私としては、パワハラを涙が出るほど根絶したい。具体的には言わないが今までもあった。それを職員も自信をもって表に出していただきたい。記名無記名も問いません。そうしたらいっぱい出るはずだ。今は調査を約束している中途の段階であり結論が出てないのに、金庫にしまってあるアンケートだけで方向性を示すのは違うのでは

ないか。

意見

市は、いろんな取り組みを行いそのことは素晴らしいと思うのに、ああいう記事で津島市のイメージが台無しになってしまう。気を付けていただきたい。

市長

おっしゃる通り。今までは表に出ないように市職員も幹部職員もなっていた。ただこういう話が出た以上は過去にさかのぼって、パワハラ根絶・改善に向かっていきたい。しかしこれで誰それをクビにするというのではなく前向きに直していききたいというのが私の願いだ。こうしたことで市政が停滞させたくない。そうなら謝罪する気持ちであり頭も丸める気持ちだ。何とか正常な状態に戻したい。

意見

皆さん職員の方を大切にしてください。

(3) 企業誘致・人口減少対策と公園の整備について

意見

2点の質問。企業誘致について、説明を伺ったが、それでも市の人口が減少している。企業誘致を行ったら働く人が増えるはずだろうがそれでも減ってしまう。人口増加のため市が誘致した企業で働く人のため市の土地に住宅を作るなどして若者を増やすようなことを考えていただきたい。

もう一つ、唐臼地区は戸数の多い町内である。子どもが遊ぶ場としてはどんぐり広場があるが、そこは400～500平米くらいで遊具がありそこで子どもが遊んでいる。朝や夕方方は小学生たちが、昼間は保育園や未就学児の子どもたちが遊んでいる。しかし公園はあまりに狭いので、拡大をしていただくあるいはその援助をしていただくことはできないだろうか。

市長

まず人口減少について回答します。お配りした最初の資料にもありますが、今後50年で日本の人口は三割減少する。これを何とか抑えるために2030年までに国もいろいろな取り組みをしている。今日本の出生者数は年間80万人を切り、今後7年間で子育て世代が出生者数120万人だった世代でありこの世代に産んでもらうために子育て支援をやっていて、子育て支援全国一位のレベルで市もそのことに取り組んでいる。

人口の受け皿としては唐臼の25万平米の土地の都市計画を見直し用途変更・容積率を改善した。これにより、より容積率の高い住宅や今まで建てられないものを建てられるようになった。神守・唐臼地区でこれを実施し受け皿を増やした。もう一つはトップクラスの最大100万円の定住促進補助金であり、神守・唐臼地区の低利用地を対象に実施している。

津島市は10年間、平成22年の国勢調査から令和2年の国勢調査の間で人口が5,000人減った。このペースは出生率向上や子育て支援だけでは転換できない。人口減少を前

提とした世の中を作っていかなければならない、まちづくりというのが今の一つの考え方。人口減少を前提とした人口 8000 万人規模の国へのソフトランディングを目指していくのが一つの考え。転入者を増やす社会増は近隣から引っ張ってくるだけであり限界がある。子育てしやすさを追求し出生数を増やし、人口を維持していくことが大切である。また 10 年間で人口が減っても市の税収は増えている。人口減少が止められない中でも企業誘致などで早くから戦略的に対応した。こうした行財政改革には痛みがある。生涯学習センターの大ホールや市営プールなどがその例である。しかしこれには将来的に東公園への具体性のある民間投資による新しいビジョンを示して対応したい。

この 10 年で戦略的に魅力を高めるまちづくりと子育て支援で人を呼び込むというのが津島市の今のシナリオである。それに今年予算を立てて対応している。公園の件は担当からお答えする。

市職員

公園の件は、担当課の都市整備課とも連携させていただくが、現在老朽化した市営住宅を整理整頓していく中で、現在住んでいる方がいるところではあるが、跡地を公園として活用することも含め有効活用していくことを検討していくのもうしばらくお待ちいただきたい。

市長

市営住宅はかつて市内に 500 戸を超えるほどだったが現在住んでいるのは 200 戸くらいである。古い住宅は撤去しつつ、補助金を出しほかの公営住宅や民間住宅へ誘導していく道筋を示している。古い市営住宅は耐震性がなく、住民の方にはご理解をいただきたいとご案内をしている。跡地利用についてもさまざまに考えている。今は手つかずだが改善していく。ただし跡地は一団の土地ではないことが多いので、今はまだ投資の段階だが数年後に実行していく。

以上。